



酪農学園大学 獣医学群



WOAH食の安全
コラボレーティングセンター



World Organisation
for Animal Health
Founded as OIE

地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS) プロジェクト

給付型大学院生募集 (分野: 疫学)

2024年4月開始予定の JICA-AMED 地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS) プロジェクト「ワンヘルス・教育・官民連携による顧みられない人獣共通感染症介入の共同デザインに関する研究開発」では、酪農学園大学大学院獣医学研究科博士課程で疫学を学ぶ、給付型大学院生を1名募集いたします。この大学院生は、酪農学園大学、東京大学、帯広畜産大学、山口大学で学ぶタンザニア人大学院生および現地研究機関 (ソコイネ農業大学、国立医学研究所、ムヒンビリ保健関連科学大学) ならびに国際パートナーと連携して研究します。大学院生活を他の奨学金なしで送るに十分な月額が支給されます。

本研究では、タンザニア共和国でまん延する人獣共通感染症であるブルセラ症と人獣共通結核を、①動物と人の疫学、社会経済学、人類生態学の把握、②参加型システムダイナミクスモデルによる効率よい介入ポイントの特定、③介入ポイントを含む教育と官民連携推進により制御します。参加型システムダイナミクスモデリングでは、プロジェクト開始時からタンザニアの関係者とチームを作り、意見を取り入れながら動物と人の感染症伝播と人の経済活動を定量化したシステムを仮想空間で構築し、シミュレーションにより疾病制御に至るレバレッジ・ポイント (ゲームチェンジャーとなるこの支点) を見つけます。デジタル技術で介入教材を作成し、ナッジ (より良い選択を自発的に取れるよう促す手法) を取り入れたコミュニティ教育と官民連携推進により行動変容を起こし、動物と人の新規感染を低減させます。

募集する大学院生の役割は、上記①のうち疫学で、遊牧民、畜産農場、バリューチェーン、コミュニティ、医療・獣医療システムに渡るコンポーネントの調査解析をします。また得られた結果を②と③に反映させます。本ポストには、獣医師で、十分な数学的能力、語学力、コミュニケーション能力を持ち、俯瞰的な視野で人と動物の健康問題解決に取り組む意欲のある方を募集します。業務経験、国際経験がアドバンテージとなる可能性があります、新卒でも応募可能です。

グラスゴー大学、スイス熱帯公衆衛生研究所、オクラホマ州立大学、タイおよびイタリア動物衛生研究所の研究者も研究組織に含まれており、世界レベルで学ぶことが出来ます。

当プロジェクトでグローバルヘルスに挑戦したい方は、2023年6月末までに「SATREPS 大学院生希望」というタイトルで下記に電子メールでご連絡ください。さらに詳しくご説明いたします。志のある方にお会いできることを、大いに期待しております。

2023年5月19日 (金) 酪農学園大学大学院 獣医学研究科 獣医疫学教授 蒔田浩平

SATREPS 令和5年度採択課題: https://www.amed.go.jp/koubo/20/01/2001C_00045.html

連絡先: 蒔田浩平 (プロジェクト研究代表者) Email: kmakita@rakuno.ac.jp

獣医疫学ユニット HP: <https://veterinaryepidemiology.jp/>